平成26年11月11日

株式会社　井関松山製造所

お知らせ

もの育文化祭開催

井関創立90周年記念イベントの一環として、愛媛県中予地区の小学生を対象としたものづくり教育「もの育文化祭」を愛媛県教育委員会、松山市教育委員会後援のもと、平成26年11月8日（土）に開催いたしました。

このイベントは井関発祥の地に対し、地域貢献できる当社ならではのことができないかと考えて、小さなころからものづくりに興味をもってもらってものづくりの大変さや楽しさの理解を深めてもらいたく企画いたしました。

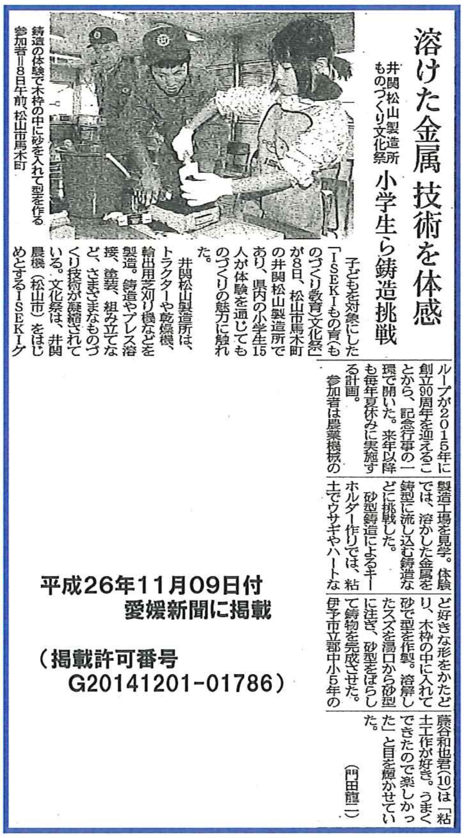
工場見学、CADを使ってのメダル設計、砂型鋳造によるキーホルダー作成、松山工業高等学校高校生協力によるロボット操作体験、農業機械の試乗を楽しんでもらいました。

砂型鋳造による
キーホルダー作成

ロボット操作体験

（松山工業高等学校
協力）

大型トラクターの
試乗



溶けた金属 技術を体感

井関松山製造所
ものづくり文化祭　小学生ら鋳造挑戦

鋳造の体験で木枠の中に砂を入れて型を作る参加者＝8日午前、松山市馬木町

子どもを対象にした「ISEKIもの育（ものづくり教育）文化祭」が8日、松山市馬木町の井関松山製造所であり、県内の小学生15人が体験を通じてものづくりの魅力に触れた。

井関松山製造所は、トラクターや乾燥機、輸出用芝刈り機などを製造。鋳造やプレス溶接、塗装、組み立てなど、さまざまなものづくり技術が凝縮されている。文化祭は、井関農機（松山市）をはじめとするISEKIグループが2015年に創立90周年を迎えることから、記念行事の一環で開いた。来年以降も毎年夏休みに実施する計画。

参加者は農業機械の製造工場を見学。体験では、溶かした金属を鋳型に流し込む鋳造などに挑戦した。

砂型鋳造によるキーホルダー作りでは、粘土でウサギやハートなど好きな形をかたどり、木枠の中に入れて砂で型を作製。溶解したスズを湯口から砂型に注ぎ、砂型をばらして鋳物を完成させた。

伊予市立郡中小5年の藤谷和也君（10）は「粘土工作が好き。うまくできたので楽しかった」と目を輝かせていた。

（門田龍二）

平成26年11月09日付
愛媛新聞に掲載

（掲載許可番号
G20141201-01786）

参加者からのアンケートでは、
「キーホルダー、メダル作りが楽しかった。大きなトラクターに乗れて楽しかった。」など大好評でした。

次回は来年の小学生の夏休み期間を予定しております。